

収 受	
令和	-3, 6, 28
環境第 環境第	47/30 号
吹田市	

様式第二号の九（第八条の四の六関係） （第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和3年 6月28日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府豊中市新千里西町1-1-4 (6F)

氏名 パナソニックホームズ(株)
近畿支社 支社長 島村 光一
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

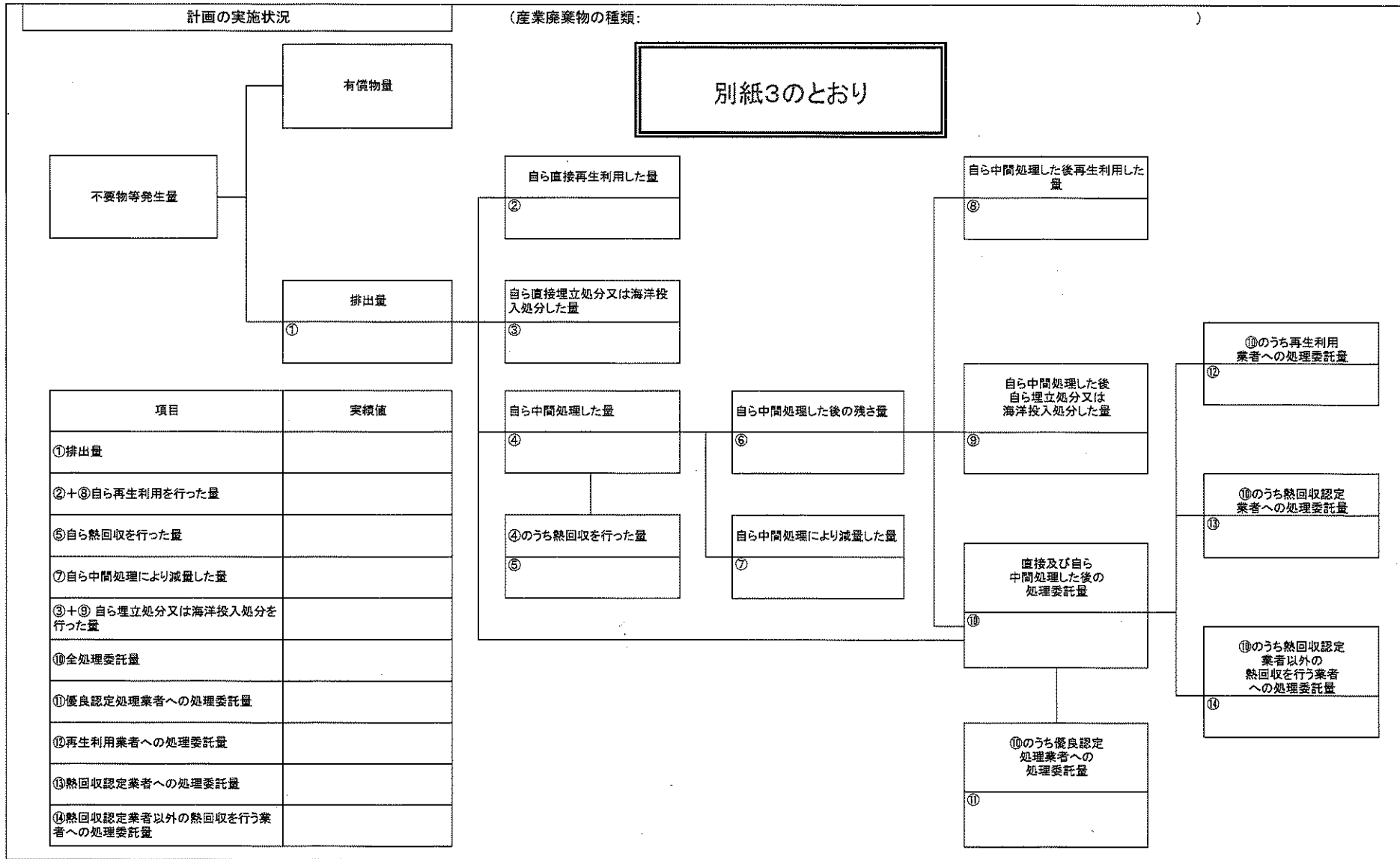
電話番号 06-6834-5049

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	パナソニックホームズ(株)近畿支社(吹田市管轄内事業場)
事業場の所在地	吹田市管轄区域内
事業の種類	06:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和2年4月1日~令和3年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1109.000 t	全処理委託量	1109.000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	909.000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1109.000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況														②+⑧ 自ら再生利 用を行った 量	③+⑨ 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行った量
	①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤④のうち 熱回収を行 った量 (自ら熱回 収を行った 量)	⑥自ら中間 処理した後 の減少量	⑦自ら中間 処理により 減少量した 量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分し た量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量 (全処理委 託量)	⑪⑩のうち 優良認定 処理業者へ の処理委託 量(優良認 定処理業者 への処理委 託量)	⑫⑩のうち 再生利用 業者への処 理委託量 (再生利用 業者への処 理委託量)	⑬⑩のうち 熱回収認 定業者への 処理委託量 (熱回収部 定業者への 処理委託量)	⑭⑩のうち 熱回収認 定業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量(熱回収 認定業者以 外の熱回収 を行う業者 への処理委 託量)		
コード	名称															
600	廃プラスチック	2,485						0,000		2,485	2,485	0,000	2,485		0,000	0,000
800	木くず	59,395						0,000		59,395	59,395	59,395			0,000	0,000
810	建設工事の木くず	114,540						0,000		114,540	81,540	114,540			0,000	0,000
811	伐採根・伐根材	11,010						0,000		11,010	11,010	11,010			0,000	0,000
1200	金属くず	6,780						0,000		6,780	0,000	6,780			0,000	0,000
1322	石膏ボード	4,590						0,000		4,590	4,590	0,000	4,590		0,000	0,000
1500	がれき類	86,300						0,000		86,300	54,000	86,300			0,000	0,000
1501	コンクリート破片	1,315,700						0,000		1,315,700	23,100	1,315,700			0,000	0,000
1502	アスファルト・コンクリート破片	44,330						0,000		44,330	0,000	44,330			0,000	0,000
2000	建設混合廃棄物	76,836						0,000		76,836	21,476	76,836			0,000	0,000
2020	管理型建設混合廃棄物	122,610						0,000		122,610	11,180	122,610			0,000	0,000
2440	石綿含有産業廃棄物	18,132						0,000		18,132	16,132	18,132			0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
								0,000							0,000	0,000
合計		1,862,708	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	1,862,708	284,908	1,855,633	7,075	0,000	0,000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。
 ※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。
 様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①～⑭)に示す量を表に入力。